# (別添) 「エコドライブ推進月間」チラシ

# 『エコドライブ10のすすめ』

**1 ふんわりアクセル「eスタート」**
「やさしい発進を心がけましょう。」
普通の発進よりすこし緩やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安です）だけで11%程燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気分で運転しましょう。

**2 加減速の少ない運転**
「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」
車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、渋滞にムラがある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、燃料消費量で2%程度、排気で5%程度悪化します。また、同じ速度であれば、高ギアで走行するほうが燃費がよくなります。交通状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

**3 早めのアクセルオフ**
「エンジンブレーキを積極的に使いましょう。」
エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジンブレーキを活用しましょう。

**4 エアコンの使用を控えめに**
「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」
気温条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に直接に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程燃費が悪化します。

**5 アイドリングストップ**
「無用なアイドリングをやめましょう。」
10分間のアイドリング（ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合）で、150cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐車中の間にはアイドリングをとめましょう。

**6 暖機運転は適切に**
「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」
常温時用されているガソリン機関車において必要時間です。車庫内など特別な状況を除き、走りながら緩やかウォームアップ走行で十分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。

**7 道路交通情報の活用**
「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。」
1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。目的地やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ確認・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして出掛けましょう。

**8 タイヤの空気圧をこまめにチェック**
「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。」
タイヤの空気圧が適正値より50kPa（0.5kg/cm²）不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

**9 不要な荷物は積まずに走行**
「不要な荷物を積まないようにしましょう。」
100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。使わない荷物は、車から下ろしましょう。

**10 駐車場所に注意**
「渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。」
交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらし、余分な排気ガスを出させる原因となります。平均速度が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。

データ出所：（財）省エネルギーセンターなどの調査結果

**エコドライブ普及連絡会**（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）

エコドライブを楽しむ地球人サイト　http://www.recoo.jp

エコドライブによる$CO_2$発生量低減を目指し、
いろいろな方々のエコドライブの実践を支援するシステムです。
・車の燃費を登録し、記録として残せます。
・燃費向上や安全運転がわかりやすいデータとして表示されるので、運転者と方々車の使い方などと燃費との関係がつかみやすくなります。